

教育庁事業改善調書（平成19年度実施事業）

特別支援教育課（内線 5 2 8 0）

事業名	特別支援教育理解促進研修会	事業開始年度	平成18年																				
事業の目的	体験的な研修を通して、特別支援教育に対する理解と認識を深める。																						
事業の概要	1 参加者 小学校の通常の学級を担当する教員及び市町村教育委員会就学指導事務担当者 2 会場 特別支援学校（知的障害教育）14校 3 研修内容 授業参加及び参観 特別支援学校の紹介 グループによる研究協議																						
期待される効果	・通常の学級を担当する教員が特別支援教育を理解し、特別な支援を必要とする児童に対して、一人一人に応じた指導を実践する。 ・特別支援学校の役割を理解し、小学校と特別支援学校との連携・協力が促進される。																						
アンケート調査結果	調査対象 研修会に参加した小学校の通常の学級を担当する教員 583名 1 授業参加・参観について (1) 一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行うことの大切さを学ぶことができたと思いますか。 <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 80%; text-align: center;">思う</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">少し思う</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">5 (%)</td> </tr> </table> <p>「あまり思わない」「思わない」: 0 %</p> </div> (2) 障害のある児童の教育について、理解が深まったと思いますか。 <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">思う</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">少し思う</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">79</td> <td style="text-align: center;">21 (%)</td> </tr> </table> <p>「あまり思わない」「思わない」: 0 %</p> </div> 2 学校紹介について (1) 特別支援学校が行う相談や研修協力の内容や依頼方法が理解できましたか。 <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 60%; text-align: center;">できた</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">少しできた</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">あまり理解できなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">65</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">3 ↓ (%)</td> </tr> </table> <p>「理解できなかった」: 0 %</p> </div> (2) 特別支援学校に相談や研修協力を依頼しようと思いますか。 <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">思う</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">少し思う</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">あまり思わない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">67</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">1 ↓ (%)</td> </tr> </table> <p>「思わない」: 0 %</p> </div>			思う	少し思う	95	5 (%)	思う	少し思う	79	21 (%)	できた	少しできた	あまり理解できなかった	65	32	3 ↓ (%)	思う	少し思う	あまり思わない	67	32	1 ↓ (%)
思う	少し思う																						
95	5 (%)																						
思う	少し思う																						
79	21 (%)																						
できた	少しできた	あまり理解できなかった																					
65	32	3 ↓ (%)																					
思う	少し思う	あまり思わない																					
67	32	1 ↓ (%)																					

アンケート
調査結果

3 グループ協議について

(1) 障害のある児童が生活や学習に適応するための支援方策について、自分の考えを深めることができましたか。

	あまり思わない
思う	少し思う
54	44
	↓ 2 (%)

4 自由意見

研修会の内容や日程について改善してほしい点について記述してください。

回答の趣旨	回答数	割合
協議が情報交換となり、深まらなかった。もっと時間がほしい	35	6.0%
実施要項に協議内容やジャージ等の持ち物を明記して欲しい。	33	5.7%
授業参観では、自由に参観したかった。	27	4.6%

(上位3項目)

5 調査結果の分析

(1) 授業参加・参観については、参加者全員が「一人一人に応じた教育を行うことの大切さを学ぶことができた」、または、「少しできた」と答えている。

同様に、参加者全員が「障害のある児童の教育への理解が深まったと思う」、または、「少し思う」と答えている。

(2) 学校紹介については、特別支援学校が行う相談や研修協力の依頼方法について、65%の参加者が「理解できた」答え、67%の参加者が、特別支援学校に相談や研修協力を依頼しようと「思う」と答えている。

(3) グループ協議については、98%の参加者が、自分の考えを深めることができたと「思う」、
「少し思う」と答えている。

(4) 自由意見では、「協議が情報交換となり、深まらなかった。」「実施要項に協議内容や持ち物についての明記が必要である。」「授業参観を自由にできるようにしてほしい。」等の意見が出された。

関連データ

特別支援教育理解促進研修会参加実績

	対象	参加人数
平成18年度	中学校教員	234名
平成19年度	小学校教員	583名

県内特別支援学校 障害種別学校数

障害種	校数
視覚障害教育	1校
聴覚障害教育	2校
知的障害教育	15校
知的障害教育・肢体不自由教育	1校
肢体不自由教育	2校
病弱教育	1校
計	22校

今後の方向

1 授業参加・参観については、自由意見で「自由に参観したかった。」等の意見を踏まえ、参加者のニーズに応じた授業参加・参観等となるように実施方法を改善する。

2 学校紹介については、特別支援学校が行う相談や研修協力や活用方法等について、より一層、通常学級担当教員の理解が得られるように資料提示方法等を工夫する。

3 グループ協議については、参加者が自分の考えを深めることができるよう、例えば、課題解決型の協議となるなど協議の進め方等について見直しを行う。